※==========※

トラック１

※==========※

★メルン：

あっ、お姉ちゃん～お客様だよ～

いらっしゃいませ～

◯ローラ：

いらっしゃいませ夜明け亭へようこそ

この宿を経営しております、ローラです

★メルン：

妹のメルンで～す

◯ローラ：

お客様はお一人ですね

本日はご宿泊でよろしいでしょうか？

はい、かしこまりました

ときにお客様…失礼ですが勇者様であらせられますか？

★メルン：

え～すご～い♥勇者様なんですか～？

◯ローラ：

やはり…

貴方様の振る舞いや雰囲気が

普段お越しになるお客様とは一線を画す物でしたので

もしや…と思いまして

★メルン：

わぁ〜本物の勇者様なんて見るの初めて〜♥

★メルン：

あっ…すっごい〜…♥とっても強そうな身体〜…♥

腕も太くて…かっこいい〜…♥

◯ローラ：

こらこらメルン、失礼ですよ

★メルン：

あはは〜♥勇者様、ごめんなさ〜い♥

◯ローラ：

メルンが大変失礼を致しました

お許し下さい

◯ローラ：

さて、勇者様がお客様となれば、

しっかりとしたおもてなしをしなければなりませんね

★メルン：

そうだね、お姉ちゃん♥

★メルン：

あのね〜…勇者様〜…♥

カッコ良くて…つよ〜い勇者様には…とっておきの宿泊プランがあるんだ…♥

名付けて…美人姉妹のおまんこで遊びたい放題プラン…♥

◯ローラ：

私達の身体を…勇者様の好きにしてお使い頂ける特別プランとなっております…♥

いかがでしょうか…勇者様…♥

長旅のお疲れを癒す為にも…是非こちらをオススメしたいのですが…♥

★メルン：

ねぇ〜…勇者様…いいでしょ〜…？♥

メルン達のお口も…おっぱいも…おまんこだって…勇者様の使いたい放題…♥

他の人にはしてない勇者様だけの特別プランなんだよ…？♥

★メルン：

ちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥

◯ローラ：

あぁ…ご心配に及ばずともお代は頂きません…♥

世界を救う勇者様から…お代を頂戴するなんて出来ません…♥

ですから全て無料でお使い頂けます…♥

◯ローラ：

ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥

★メルン：

それじゃあ…特別プランでお泊りけって〜い…♥

勇者様のチンポも…苦しそうにしちゃってるし…早速お部屋行こっか…♥

◯ローラ：

私達の身体で精一杯おもてなしさせて頂きますね…勇者様…♥

※==========※

トラック２

※==========※

◯ローラ：

こちらが本日のお部屋です…♥

さっ、勇者様…♥

そちらのベッドにおかけくださいませ…♥

★メルン：

じゃあ…勇者様ぁ…♥

まずは、メルン達のお口でご奉仕するからね〜…♥

勇者様…足開いて〜…♥

◯ローラ：

では、お足元に失礼して…♥

★メルン：

あっ…♥すっご〜い…♥

勇者様ったら待ちきれなくて…こんなにテント張っちゃって…♥

◯ローラ：

では早速、お脱がせしますね…♥失礼致します…♥

★メルン：

おっ…♥こ、これが勇者様のチンポ…♥

すっごい長くて…♥ぶっとい…♥それに血管ビッキビキのイケメンチンポ…♥

◯ローラ：

勇者様に相応しい素晴らしい物をお持ちですね…流石です…♥

◯ローラ：

それに…♥すんすん…♥この臭い…♥お゛ッ…♥くさ…♥

すんすん…♥とっても雄くさくて…♥ほっ…♥すんすん…♥

お゛ッ…♥頭の奥まで響く…♥えっぐい臭いです…♥

くんくん…♥おほッ…♥堪りません…♥

◯ローラ：

すんすん…♥すんすん…♥お゛ッ…♥んぉ゛ッ…♥すんすん…♥すんすん…♥

★メルン：

くんくん…♥んぉ゛ッ…♥こんなの嗅いだら…♥

お゛ッ…♥おまんこの奥…ムズムズしちゃう…♥くんくんッ…♥

チンポの根元…くっさ…♥お゛ッ…♥くっせ…♥

こんなの嗅いだら…頭バカになるっ…♥お゛ッ…♥くんくん…♥

★メルン：

くんくん…♥くんくん…♥お゛ッほ…♥

くんくん…♥んぉ゛ッ…♥ほっ…♥くんくん…♥

◯ローラ：

くんくん…♥お゛ほっ…♥お゛〜っ…♥

金玉の裏も…くっさっ…♥くさすぎます…♥

くんくん…♥おほッ…♥臭いが…♥お゛ッ…♥

このチンポに…早く食べたい…♥食べたいっ…♥お゛ッ…♥

くんくん…♥くんくん…♥

★メルン：

あ…やば…♥臭い嗅いだだけで…まんこイク…♥

◯ローラ：

お゛ッ…♥チンポの臭いだけで…♥お゛ッ…♥まんこ甘イキしてしまいますッ…♥

★メルン：

あ゛ッ…イクイクイク…♥まんこイク…♥チン嗅ぎアクメするッ…♥イグッ…！♥

★メルン：

おぉ゛〜…♥やばっ…頭びりびりする…♥

★メルン：

ふ〜〜〜ッ…♥ふ〜〜〜ッ…♥おっ…♥ふ〜〜〜ッ…♥

◯ローラ：

んぉ゛ッ〜…♥こんなの゛ッ…♥お゛ッ…♥初めてです…♥ふ〜…♥ふ〜…♥

◯ローラ：

あっ…♥わ、私達だけ楽しんで…申し訳ございません…♥

★メルン：

勇者様だってチンポ…気持ちよくなりたいよね…♥

それじゃ早速…お待ちかねのチンポいただきま〜す…♥

★メルン：

ぢゅるるっ…♥ぢゅぞぞッ…♥れろれろ…♥

ぢゅぞぞッ…♥んちゅッ…♥れろれろ…♥

◯ローラ：

私も失礼致しますね…♥はむ…♥

◯ローラ：

ぢゅる…♥ぢゅぞぞっ…♥ぢゅぞぞ…♥れろれろ…♥ぢゅぞぞっ…♥ぢゅるッ…♥

★メルン：

ど〜お…？♥勇者様〜…♥私達のお口まんこで…♥

ぢゅるるっ…♥チンポサンドされるの〜…♥ぢゅるるっ…♥

どうかな〜…？♥れろれろ…♥ぢゅるるっ…♥ぢゅるるっ…♥

★メルン：

ぢゅるるっ…♥ぢゅぞぞッ…♥れろれろ…♥

ぢゅぞぞッ…♥んちゅッ…♥れろれろ…♥

◯ローラ：

私達の…この長い舌は…♥れろれろ…♥皆様にも…大好評でして…♥れろれろ…♥

こうやって…カリの所に…二人の舌を絡めて〜…♥

ぢゅるるッ…♥いかがでしょうか〜…？♥ぢゅるるっ…♥

◯ローラ：

ぢゅる…♥ぢゅぞぞっ…♥ぢゅぞぞ…♥れろれろ…♥ぢゅぞぞっ…♥ぢゅるッ…♥

★メルン：

ふふ…♥勇者様ったら…そんな下品で…マヌケなお顔しちゃって…♥

そんなに気持ちいいんだね〜…♥

★メルン：

だったら…思いっきり精液引っこ抜いてあげる…♥

あ〜ん…♥ぢゅぞッ♥ぢゅるるッ♥ぐっぽぐっぽッ♥ん゛ッ♥ぢゅるるッ♥

★メルン：

ぢゅるるッ♥ぐっぽぐっぽッ♥ぢゅるるッ♥ぐっぽぐっぽッ♥

◯ローラ：

あ〜♥もうメルンったら♥私にも変わりなさい！♥

★メルン：

ちゅぽんっ♥もう全く仕方ないなぁ〜♥

◯ローラ：

やった♥じゃ、頂きま〜す♥

ぶっぽっ♥ぶっぽっ♥ぐぽぐぽッ♥ぢゅるるッ♥チンポおいひッ♥ぢゅるるッ♥

ぢゅるるッ♥ぢゅぞッ♥ぐっぽぐっぽッ♥ぢゅぞぞッ♥ぢゅるるッ♥

やっぱ♥その辺の雑魚なんか目じゃないッ♥

ぢゅるるッ♥ぢゅぞッ♥勇者のチンポ♥おいひすぎっ♥

ぐっぽっ♥ぢゅるっ♥ほら精子だせっ♥ぢゅるるっ♥ぢゅぞぞっ♥ぐっぽぐっぽっ♥

◯ローラ：

ぶっぽッ♥ぶぽッ♥ぶぽッ♥ぢゅぞぞッ♥

ぐっぽぐっぽッ♥ぢゅるるッ♥ぢゅぞぞッ♥

★メルン：

ふふっ…♥お姉ちゃんの豹変っぷりに…びっくりした…？♥

まぁ後でちゃんと説明したげるから…♥

今は…しっかりチンポに集中して…しっかり精子吐き出すんだよ…？♥

ほ〜ら…出せ出せ出せ…精子びゅ〜しろ…♥

お姉ちゃんのお口の中に…勇者の精子…全部出せ…♥金玉の中…空っぽにしろ…♥

◯ローラ：

んゞッむッ♥んゞ〜〜〜ッ…♥ごきゅ…♥ごきゅ…♥ぢゅるるっ…♥ごきゅ…♥

★メルン：

あ〜、お姉ちゃんったら…♥私の分、残しといて欲しかったなぁ…♥

◯ローラ：

ぢゅるる〜…ちゅっぽん…♥くちゃ…くちゃ…♥ごっくん…♥んっ…♥

◯ローラ：

勇者様…精子…大変美味しかったです…♥ご馳走様でした…♥

※==========※

トラック３

※==========※

◯ローラ：

ふふっ…♥自分が置かれている状況に気づきましたか…？♥

そうです…あなたはサキュバスの餌場にみすみす入ってきた…

おバカな獲物って訳です…♥

★メルン：

勇者の癖に気づかなかったのかな…？♥

こんなショボいのが勇者だなんて…♥

立派なのはチンポだけなんだね…♥ふふっ…♥

◯ローラ：

まぁ…そんなおマヌケ勇者様には最期に…♥

極上の快楽でもって…あの世に送って差し上げますよ…♥

◯ローラ：

じゅるり…♥それじゃ…チンポ頂きま～す…♥

◯ローラ：

んぉ゛ッ♥お゛ッ♥おん゛ッ♥おッほ♥このチンポ…ヤバッ…♥お゛ッ♥

長くて…奥の気持ちいいとこにッ♥ガツガツ当たってッ♥おまんこキくッ…♥

◯ローラ：

んぉ゛ッ♥おほッ♥お゛ッ♥お゛ッ♥おん゛ッ♥んぉ゛ッ♥おん゛ッ♥

★メルン：

うわぁ…お姉ちゃんにこんな声出させるとか…♥

勇者様…相当自信もっていいよ…♥

まあ…自慢のチンポを他の女の子に使う事なく…

メルン達に食べられて…あの世に逝っちゃうんだけどねぇ…♥

かわいそ〜…♥

◯ローラ：

私達は…んッ…♥こうやって餌をおびき寄せて…相手を魅了するんです…♥

サキュバスですから…♥それは息をする様に簡単な事…♥んッ…♥

◯ローラ：

んぉ゛ッ♥おほッ♥お゛ッ♥お゛ッ♥おん゛ッ♥んぉ゛ッ♥おん゛ッ♥

★メルン：

そんで…ご飯が終わったら…次の餌場に行くために…

メルンの能力で、この宿屋丸ごと転移させてるって訳…♥

誰かさんと違って…勘のいい勇者に討伐されちゃ困るからね…♥

◯ローラ：

本当なら♥んぉ゛ッ♥一生味わう事のない゛ッ♥

サキュバスまんこを味わえるんですッ♥

最期にッ♥こんないい思いをして逝けるんですッ♥

んぉ゛ッ♥感謝して欲しいくらいですよッ♥

ほら♥勇者様ッ♥出せ♥精子よこせッ♥

私のお腹をいっぱいにしろッ♥逝けッ♥ほらッ♥ほらッ♥

◯ローラ：

んぉ゛ッ♥おほッ♥お゛ッ♥お゛ッ♥おん゛ッ♥んぉ゛ッ♥おん゛ッ♥

★メルン：

あ〜ッ♥もうラストスパート…？♥

お姉ちゃんたら…♥そんなにお腹空いてたんだ…♥

じゃ…勇者様…♥ばいば〜い…♥

◯ローラ：

お゛ッ♥おぉ゛〜〜〜ッ♥イクイクイクッ♥まんこいっく゛ッ♥んぉ゛ッ♥

◯ローラ：

ぐぉッ♥精子ッ♥来たッ♥お゛ッ♥お゛〜ッ♥

子宮の中にッ♥いっぱいッ…♥お゛ッ♥お゛〜ッ♥

◯ローラ：

お゛ッ…♥んぉ゛ッ…♥お゛ッ…♥お゛〜ッ…♥

ふ〜〜〜ッ…♥んぉ゛ッ…♥お゛〜ッ…♥

★メルン：

あ〜…イっちゃったね〜…♥まぁ…耐えられる訳ないよね…♥

精子を搾り取る為に…おまんこのヒダヒダが…細かくうねってるでしょ…♥

人間如きに耐えられる訳ない…サキュバスの優秀おまんこ…♥

★メルン：

ねっ、そうでしょ？お姉ちゃ…

◯ローラ：

お゛ッ♥おほッ♥ふぎぃ゛ッ♥お゛ッ♥と、止めッ♥精子もう止めッ♥お゛ッ♥

お腹いっぱいだからッ♥精子もういらな゛…♥んぉ゛ッ♥おぉ゛〜ッ♥

★メルン：

え…お姉ちゃん…？だ、大丈夫…？

◯ローラ：

メルン…た、助けて…勇者を…と、とめ…

★メルン：

お姉ちゃん…！

★メルン：

あ…勇者様…！待ってッ…！きゃっ…！

あはは…に、逃げらんない…♥力つよ…♥

あっ…待って…♥待ってよ〜…♥

メルン…お姉ちゃんみたいにおまんこ強くないの…♥

だから…ね…？♥手加減しｔ…

んぉ゛ッ♥お゛〜ッ♥お゛ッ♥ぬお゛ッ♥

おん゛ッ♥あ゛ッ♥ダメッ♥あ゛ッ♥んぉ゛ッ♥んぉ゛ッ♥

お姉ちゃんが勝てないチンポにッ♥メルンが勝てる訳ッ♥んぉ゛ッ♥

お゛ッ♥お゛〜ッ♥チンポながっ♥長すぎッ♥んぉ゛ッ♥

奥にゴツンゴツン当たって゛ッ♥子宮潰れちゃうッ♥

ダメになりゅッ♥お゛ッ♥ぬぉ゛ッ♥

お゛〜ッ♥待ってッ♥おまんこイクッ♥イクイクイクッ♥イッくッ！♥

ぐぉ゛ッ♥イ゛ッ♥イッて゛ッる♥おまんこイッて゛るからッ♥ぐぉ゛ッ♥

勇者様ッ♥ゆ、許してッ♥い、今ならッ♥おん゛ッ♥

無事にここから出してあげるからッ♥

お゛ッ♥んぉ゛ッ♥ね？♥それでいいでしょッ！？♥おぉ゛ッ♥んぉ゛〜ッ♥

あ゛ッ♥チンポはやいッ♥んぉ゛ッ♥ぐぉ゛ッ♥おん゛ッ♥おん゛ッ♥おほッ♥

★メルン：

あ゛ッ♥やだやだやだッ♥精子ッ♥いらないッ♥精子欲しくないッ♥

あッ♥お姉ちゃんみたいになっちゃうッ♥あ゛ッ♥助けてッ♥お姉ちゃ…♥

んぉ゛〜〜〜ッ♥お゛〜〜〜ッ♥おほッ♥

出されてるッ♥濃ゆいの゛ッ♥出されてるッ♥

お゛ッ♥待って゛ッ♥ホントに出しすぎだからッ♥

ぬぉ゛ッ♥お腹いっぱいだからッ♥

子宮の中にまでッ♥精子詰めちゃやだぁ♥ぬぉ゛ッ♥奥にへばりついてるッ♥

やけどすりゅッ♥お゛〜ッ♥子宮ダメになりゅッ♥ぬぉ゛〜ッ♥

おっ…♥おふ…♥ふへ…♥へ〜…♥へ〜…♥

ひ、ひぬ…♥おまんこひんじゃう…♥

★メルン：

ぬぉ゛ッ！？♥お゛ッ♥んぉ゛ッ♥お゛ッ♥おん゛ッ♥おん゛ッ♥お゛ッ♥

まだ余韻イキが終わってなくて♥おまんこくたくたでッ♥

あッ♥んぉ゛ッ♥お゛ッ♥ぬぉ゛ッ♥もうおまんこ無理ッ♥無理だからッ♥

許してッ♥勇者様ッ♥許しッ♥ぬぉ゛ッ♥おん゛ッ♥おん゛ッ♥お゛ッ♥

またイクッ♥おまんこイグ゛ッ♥お゛ッ♥おん゛ッ♥おん゛ッ♥お゛〜〜〜ッ♥

※==========※

トラック４

※==========※

★メルン：

ゆ、勇者様…ゆるひて…♥

もうおまんこダメ…♥ダメになっちゃうからぁ…♥

◯ローラ：

お願いします…♥本当に…おまんこ限界です…♥

もう…許して下さいませ…♥

◯ローラ：

へ…？お願いの仕方がなってない…？

それ相応の作法があるだろと…そう…仰るのですか…

か、かしこまりました…ほら…メルン…

★メルン：

うぅ…分かったよ…お姉ちゃん…

◯ローラ：

この度は…勇者様を食べようとして誠に申し訳ございませんでした…

この通り…土下座してお詫びいたします…

★メルン：

雑魚まんこサキュバスの分際で…勇者様を騙してごめんなさい…

◯ローラ：

まんこよわよわな癖に…偉そうな口を利いて…申し訳ございませんでした…

私達の雑魚まんこで良ければ…勇者様に差し上げますので…どうか…お許しを…

★メルン：

ごめんなさい…勇者様…

命だけは…メルン達の命だけは許して下さい…お願いします…

◯ローラ：

こんな辱めを…受けるなんて…ッ！

★メルン：

しかも…ちょっとチンポが強いだけの人間如きにぃ゛…

◯ローラ：

んぉ゛ッッッ！♥

★メルン：

ふぎ゛ッッッ！♥

◯ローラ：

申し訳ございません゛ッ♥

生意気な口は叩きませんッ♥

だからお尻を叩くのッ♥許して下さいませッ♥

★メルン：

んぉ゛ッ♥ごめんなさいッ♥勇者様ッ♥お尻は叩いちゃダメッ♥

マゾイキ癖ついちゃう゛からッ♥

お尻までよわよわ雑魚サキュバスになっちゃう゛ッ♥

◯ローラ：

ふぎ゛ッッッ！♥

★メルン：

んぉ゛ッッッ！♥

◯ローラ：

ふぎゅ゛ッ♥おまんこ…イっく゛〜〜〜ッ…♥

★メルン：

あ゛ッひッ…♥ぐぉ゛ッ…んぉ゛〜〜〜ッ…♥

◯ローラ：

ひッ…♥ふひっ…♥ひ〜…♥ひッ…♥ひ〜〜〜ッ…♥

★メルン：

ふ〜〜〜ッ…♥ふひッ…♥ひッ…♥ひ〜〜〜ッ…♥

◯ローラ：

え…？おまんこをこっちに向けろ…？♥

★メルン：

わ、分かったよぉ…♥勇者様ぁ…♥

◯ローラ：

これで…よろしいでしょうか…勇者様…♥

私達の雑魚おまんこ差し出します…♥

★メルン：

だから勇者様…♥お願い…優しく…♥優しくして…♥

◯ローラ：

ぬぉ゛ッ…♥指ふっとい゛ッ…♥おほッ♥お゛ッ…♥

おまんこの弱いとこ…♥探られてるッ…♥

★メルン：

しかも…ぐぉ゛ッ…♥な、長くてッ…♥んぉ゛ッ…♥

ゴツゴツしてりゅ゛ッ…♥んぉ゛ッ…♥

★メルン：

お゛ッ…♥んぉ゛ッ…♥おほッ…♥おん゛ッ…♥おん゛ッ…♥お゛ッ…♥

◯ローラ：

お、おまんこの弱い所ですか…？♥

は、はい…♥お゛ッ…♥お教え致します…♥

私のおまんこの弱い所は…おまんこの゛ッ…入口の浅い所ですッ…♥

あっ…そのざらついたとこッ…♥

そこッ…♥そこをゴシゴシされるのが大好きなんですッ…♥

おぉ゛〜ッ…♥んぉ゛ッ…♥

セックスしてる時も…チンポそこに擦りつけてッ…♥

おまんこイクの大好きなマゾなんです〜ッ…♥んほッ…♥

◯ローラ：

んぉ゛ッ…♥くひッ…♥おん゛ッ…♥お゛ッ…♥お゛ッ…♥んぉ゛ッ…♥

★メルン：

んぉ゛ッ…♥お゛ッ…♥メルンも言いますッ…♥

メルンのおまんこ弱い所ッ…白状しますッ…♥

メルンは…♥おまんこの真ん中のッ…♥

窪んだとこに゛ッ…♥お゛ッ…♥しょこ…♥しょこに指を引っかけてッ…♥

んぉ゛ッ♥それッ♥ほじほじされるのが大好きなの゛ッ〜…♥んぉ゛ッ…♥

自分でおまんこオナニーする時も゛ッ…♥

そこに指引っかけて゛ッ…♥イキ散らかしてるの゛ッ…！♥

◯ローラ：

お゛ッ♥ぬぉ゛ッ♥指はやい゛ッ♥ぐぉ゛〜〜〜ッ♥

★メルン：

弱いとこッ♥しつこい゛ッ♥んぉ゛ッ♥おぉ゛〜〜〜ッ♥

◯ローラ：

う゛〜〜〜ッ♥イグ゛ッ♥おまんこイキ゛ますッ♥

★メルン：

雑魚まんこイく゛ッ♥負けアクメすりゅ゛ッ♥ぐぉ゛ッ♥

◯ローラ：

お゛〜〜〜ッ♥イ゛ッ…♥く゛ッ〜〜〜ッ…♥お゛ッほ…♥

おまんこ…負けるの…癖になってしまいますッ…♥お゛〜〜〜ッ…♥

★メルン：

おまんこ…絶対変なイキ癖ついちゃったぁ〜…♥んぉ゛ッ…♥

あ、頭ちかちかするッ…♥ずっとおまんこイって゛ッ…♥

んぉ゛ッ…♥ほっ…♥ふ〜〜〜ッ…♥

※==========※

トラック５

※==========※

◯ローラ：

ふ〜〜〜ッ…♥ひゅ〜〜〜ッ…♥も、もう…無理です…♥おまんこ限界です…♥

★メルン：

ひっ…♥ひゅ〜〜〜ッ…♥おまんこ負けたから…♥お願い…許して〜…♥

◯ローラ：

じょ、条件を飲めば許す…？ほ、本当ですか…？

★メルン：

でも条件って何…？

★メルン：

魔王様を裏切れ…？

魔王様の所にメルンの能力で勇者様を送れっていうの…？

そんな事出来る訳ないでしょ…！

大体、勇者様が魔王様に勝てる保証なんてないし…！

◯ローラ：

それにそんな事をすれば私達は…

勇者様が私達を守るですか…？本気で仰ってるんですか…？

私達は魔族なんですよ…？今までの事を鑑みれば、決して許される筈が…

★メルン：

結婚して、3人で一緒に静かな場所で暮らしたらいいって…何それ…

うぅ…どうしよ…お姉ちゃん…

勇者様の事…好きになっちゃったかも…

◯ローラ：

う゛ぅ…悔しいですが…私もです…

わ、分かりました…ご提案…謹んでお受け致します…

★メルン：

確かに人間におまんこ負けて…無様にイキ散らしたなんて…とんでもない屈辱だし…

人間に負けた雑魚サキュバスなんて同族にバレたら…

お嫁にいけなくなっちゃうからね〜…

★メルン：

あっそうだ…♥じゃあさ、勇者様…♥

★メルン：

魔王様の所に行く前に…赤ちゃん孕ませてよ…♥

勇者様…さっき散々中出ししたけど…

サキュバスって受精しない様に排卵をコントロール出来るの…♥

◯ローラ：

ここまでは…

勇者様に食い散らかされない様にずっと卵子をお腹の奥に隠してましたが…♥

今からは…勇者様に差し上げます…♥

ですから…是非赤ちゃんを孕ませて下さい…♥

★メルン：

それに…メルン達との赤ちゃんがいるってなったら…

勇者様もいっぱい頑張れるでしょ…♥ふふっ…♥

◯ローラ：

さぁ、どちらから赤ちゃんを孕ませて頂けるんですか？…♥

◯ローラ：

あんっ…♥まずは私からですか…♥

お姉ちゃんなんだから当然…？♥なんですか…それ…♥ふふ…♥

でも…嬉しいです…♥

いっぱい…勇者様の精子下さい…♥

おまんこにへばりついて…取れないくらい…いっぱい出して下さい…♥

絶対孕んで差し上げますから…♥

★メルン：

あ〜…めっちゃイチャイチャしてていいなぁ〜…♥妬けちゃうなぁ〜…♥

◯ローラ：

後でちゃんと勇者様が相手して下さいますから我慢してなさい…♥

ふふっ…♥先程と違って…随分とお優しいお顔ですね…♥

あぁ…私もでしたね…♥

◯ローラ：

はい…どうぞ…♥

もういっぱい味わったと思いますが…どうぞ…おまんこお召し上がり下さい…♥

◯ローラ：

んっ…♥あっ…♥あんっ…♥あっ…♥あんっ…♥んっ…♥

優しいセックスも…♥んっ…♥出来るんですね…♥勇者様ぁ…♥あっ…♥あんっ…♥

え…？♥お互い様…？♥ふふっ…♥

あっ…♥あんっ…♥んっ…♥あんっ…♥あっ…♥んっ…♥あんっ…♥

んっ…♥初めてです…♥あんっ…♥

愛を確かめ合うセックスなんて…♥あっ…♥あんっ…♥

私達は…人間を餌としか思ってませんでしたから…♥んっ…♥

こうして…いっぱい愛してもらうの…とっても気持ちいいですね…♥

あんっ…♥んっ…♥

私…とっても幸せです…♥あんっ…♥あっ…♥んっ…♥あんっ…♥

勇者様に見初められて…幸せ…♥

んっ…♥あっ…♥奥っ…♥子宮口に…チンポがちゅっちゅって…♥

キスしちゃってます…♥あんっ…♥

子宮が…恋しちゃってます…♥

あっ…♥子宮がチンポお迎えする為に…♥あんっ…♥降りちゃってるッ…♥

んっ…♥あんっ…♥す、好き…♥大好きです…♥愛してますっ…♥

虫が良い話ですが…♥一生をかけて勇者様のお側で…♥

今までの事を償って生きていきます…♥

んっ…♥あっ…♥勇者様…♥出すならキスを…♥

んっ…♥いっぱいべろちゅ～して下さい…♥んっ…♥

◯ローラ：

ぢゅるるっ…♥んっ…♥れろれろ…♥ぢゅるるっ…♥ぢゅるる…♥大好きっ…♥ぢゅるっ…♥ぢゅるるっ…♥れろれろ…♥

◯ローラ：

んゞッ…♥んゞ～～～ッ…♥んゞ～～～ッ…♥

◯ローラ：

はぁ…はぁ…♥いっぱい出してくれてありがとうございます…♥

勇者様…♥今、私の卵子に、勇者様の精子がいっぱい群がってますよ…♥

そしてその中の一匹が…んっ…♥あっ…♥

今、卵の中に…潜り込んじゃったの分かります…♥

ん…♥勇者様…バッチリ受精しましたよ…♥おめでとうございます…♥

★メルン：

あ〜…もうずるいずるい〜…♥お姉ちゃん、幸せそうな顔しちゃって〜…♥

勇者様ぁ〜…♥今度はメルンにも赤ちゃん仕込んで〜…♥

◯ローラ：

勇者様…メルンが待ってますから…チンポ抜いて下さい…♥

んっ…♥あんっ…♥

★メルン：

じゃあ勇者様ぁ…♥メルンとは向かい合ってえっちしよ…♥

ほら、だっこ…♥だっこして…♥

★メルン：

んっ…ぎゅ〜〜〜っ…♥勇者様…大好き…♥ふふっ…♥

それじゃ…早速チンポ挿れるね…♥んっ…♥

★メルン：

あっ…♥ん〜〜〜っ…♥

あっ…♥あんっ…♥あんっ…♥あんっ…♥あっ…♥あんっ…♥んぁっ…♥あんっ…♥

勇者様…♥んっ…♥大好きっ…♥好きっ…♥

んっ…♥メルンも勇者様のお側に…ずっといる…♥

んっ…♥お姉ちゃんに負けないくらい元気な赤ちゃん産む…♥

あんっ…♥勇者様との赤ちゃん…いっぱい産むからね…♥

んっ…♥あんっ…♥んっ…♥あんっ…♥あっ…♥あんっ…♥んっ…♥あっ…♥

ほら…勇者様ぁ…♥あんっ…♥

メルンの赤ちゃん卵に…♥勇者様の精子いっぱい引っかけて…♥妊娠させて…♥

あんっ…♥あっ…♥あんっ…♥あんっ…♥あっ…♥

ちゅ〜…♥ちゅ〜しよ…♥お姉ちゃんともしたんだから…♥メルンも…♥

★メルン：

んっ…♥ぢゅるっ…♥ぢゅるるっ…♥ぢゅぞぞッ…♥ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥

んっ…♥勇者様…♥ぢゅるるっ…♥出して…♥

精子びゅっびゅして…♥ぢゅぞぞッ…♥

★メルン：

ん゛ッ…♥あ゛〜〜〜ッ…♥精子…奥にびゅっびゅって…♥んぁ゛ッ…♥

んっ…♥メルンの赤ちゃん卵…逃げられなくなってる…♥んっ…♥あっ…♥

★メルン：

勇者様のオタマジャクシが…♥メルンの赤ちゃん卵に…♥

あっ…♥入ってくるっ…♥あっ…♥

んっ…♥今、ぷちゅんっ…って♥赤ちゃん卵の中に…

勇者様の精子飛び込んできたよ…♥

これでメルンも妊娠確定…♥おめでとう、勇者様ぁ…♥

★メルン：

んっ…♥それじゃ少し休憩したら転移の準備するね…♥

◯ローラ：

いいですか…？勇者様…♥絶対に帰ってきて下さいね…♥

私達を妊娠させておいて…帰ってこなかったら許しませんからね…♥

★メルン：

そうだよ…？♥それにメルン達、立派な裏切り者だし…

勇者様が帰ってこないと困っちゃう…♥

ちゃんと帰ってきてくれると信じてるからね…♥

★メルン：

だから…頑張ってね…パ～パ…♥

◯ローラ：

はい、頑張って下さい…あなた…♥